

2018年2月1日 第2313回例会
2月第1例会

RIテーマ ROTARY: MAKING A DIFFERENCE
「ロータリー:変化をもたらす」

本年度会長テーマ
「共に学び 共に実践を」

「平和と紛争予防/紛争解決月間」

◆会長時間◆

村上会長



今日は深川純一さんの「日本ロータリーの昔話」のなかからお話をいたします。

1920年東京ロータリークラブ創立時の会員は国際感覚を有する一流財界人ばかりでした。日本の面目にかけてもアメリカの先輩クラブに負けてはならないと、例会も本場通りに整え、英文の週報を発刊して各地に送り、いち早く、その存在を世界のロータリーに認めさせています。

さらに特筆すべきは東京RC・大阪RCは創立時日本人だけで構成されており、他国の創立時とは際立った違いをみせております。フィリピンRCは会員112名の内、自国の会員は6名であとはアメリカ・イギリス・スペインで占められていたようで、ほかも同様であったと言われています。

東京ロータリークラブの創立によってアメリカのロータリーを受け入れましたが、日本の先輩達は、「和魂洋才」の精神をもって日本の風土に馴染むように日本独自のロータリーを作るべくロータリーの日本化に努力をいたしました。

日本独自のロータリーの根底には思想も風土習慣も異なるアメリカ発のロータリーに対する違和感があったのかも知れません。

とりわけ我々が肝に銘すべきは、戦前のロータリアンが公私峻別を厳格にし、高潔な職業倫理を非常に大切にしていたことです。このことが日本ロータリーの高潔な精神伝統を築き上げる基礎となつたのです。

●会務報告

前橋幹事

※ロータリーレートが2月から1ドル110円（1月まで114円）に変更になります。

※2017年1月から12月の期間、ロータリー財団及び米山記念奨学会に寄付をされた会員宛てに確定申告用領収書が届きましたので、BOX配布しています。

※例会終了後、4階「アマリリス」において2月定期理事会を開催いたしますので、理事会メンバーは出席願います。

※熊平製作所よりご惠贈の「抜萃のつづり」をBOXに入れておりますのでお持ち帰りください。

●委員会報告

※プログラム・出席委員会

出席報告 木本君

本日 (2月1日・木曜日)

会員数 80名 出席者 69名

欠席者 11名 ご来客 1名

ご来賓 0名 ゲスト 0名

計 70名

前々回 (1月18日・木曜日)

出席率 100%



※地域・環境委員会

松田委員長

本年度の地域・環境委員会の活動は、以下の3つです。

1つは、みずとりの浜公園の木々への施肥。

2つは、みずとりの浜公園の木々への薬剤散布。

3つは、もみの木森林公園での桜7本の植樹。来週2月9日(金)に1つ目の活動である「みずとりの浜公園の木々への施肥」を実施します。作業自体は、業者に委託していますが、次年度以降の委員会が自らの手で施肥をする場合に備えて、松田と井下副委員長が作業の様子をビデオ撮影してくる予定です。次年度地域・環境委員会に配属された方などで、関心がお有りの方は、是非ご出席ください。

●会員記念日

祝 2月お誕生日おめでとうございます。

(7名)

中村君 刀禰君 森信君 片山君
上田君 松田君 山縣君



●スマイルボックス SAA 瀬崎副委員長

北村君（自主申告）

昨年の11月19日からバトンタッチを受けたキンバリーのホストファミリーという大役が1月28日の引越をもって完了しました。2ヶ月という受入期間は我が家で初めてでしたが、キンバリーが行ってしまうと苦労よりも「何か、さみしいな」と感じる日々です。この2ヶ月、家族の協力がうまく発揮できたとは言えませんでしたが、「人様の大事な娘さんを受け入れる」という役割を負う中で、多くのことを学び、省みることができました。引き続きキンバリーは交換留学生として7月まで広島に滞在します。内気な部分があるので、引き続きバックアップに努めたいと考えています。

様々な学びの機会を広島西RCの皆様からいただいたことに感謝して出宝いたします。

鮫島君（自主申告・ダブル）

この度、ANAクラウンプラザホテル広島では、今回で4回目の開催となる、「シェフズライブキッチン」と中国料理 桃李の「チャイナガーデン」のご案内を皆様のボックスに入れさせていただきました。「シェフズライブキッチン」の今回の目玉は“ふぐ”となっています。河豚刺、河豚のから揚、ひれ酒などを用意させていただきました。桃李の「チャイナガーデン」

ではおひとり様飲み放題を付けて6,000円のリーズナブルなプランです。平日限定とはなりますが、トゥープラスワンの対象となっておりますので、是非この機会にご利用ください。

中岡君

1月30日付経済レポートによりますと、株ナカオカは、認知症予防に期待されるメディカル品質のアロマジュエリーの販売代理店として登録されました。

水溶性アロマ液を使用した香球付きペンダントと襟ピンを43,200円で販売予定です。メディカルアロマの香りが脳へ作用して脳を若返らせる作用が期待できるそうです。

川西君

12月17日付中国新聞によりますと、トータリリフォームセンターでは、そごう広島店新館5階に、暮らしに応じた住宅のリノベーションを提案するショールーム「TOTATE リノベスタジオ」を開かれたとのことです。LDKの設備や家具、トイレを設置したり、リノベーションの例を紹介するパネルを展示しておられるそうです。大勢の市民の方に改裝イメージを体感していただき、住宅改裝を応援していただくことを祈念して、御出宝をお願いします。

紫雀会の結果

紫雀会1月例会、優勝の片山君はダブルでお願いします。2位 刀禰君、3位 木本君、それぞれ出宝お願いします。

■新会員卓話



上野 寛史君

業界のこと (平成29年3月現在)

- ・業界名称：冠婚葬祭互助会
- ・互助会 会社数：256社
- ・互助会 会員数：2,330万口
- ・施行前受金：2兆4,000億円
- ・業界の特徴：経済産業省の許可事業、割賦販売法上「前払式特定取引業」、前受金の1/2は保全義務(法務局、

経産省指定期間、銀行へ供託)

※全国で最初の互助会→横須賀冠婚葬祭互助会

1948年8月創業

会社のこと（平成29年12月現在）

・グループ名：ユウベルグループ ※ユウベル株式会社を含む12の法人。

・創業：1965年（昭和40年）8月1日 当時の名称「任意団体 広島市冠婚葬祭互助会」参与：浜井信三市長、顧問：大山廣司県議会議員

・業種：冠婚葬祭互助会を基幹とするサービス業 代表者：代表取締役社長 上田勝久

・従業員数：2,979名（社員1,165名 常勤パート1,814名）男：女=40:60 事業エリア：中国地方5県、福岡県、大分県、熊本県、鹿児島県、京都府 互助会 会員数：64万口 施行前受金：700億円 売上：290億円（結婚式1,800組 葬儀12,000件）結婚式：葬儀：他=25%:55%:20%

・運営施設：

結婚式場17「マリエール」、「パルテ」、「Wグランラセーレ」、「グランラセーレ」etc..
葬祭会館62「平安祭典」、「ユウベルホール」、「ユウベル積善社（福岡）」

ホテル3「ユウベルホテル」（山口県湯田温泉、大分県由布院温泉、熊本県菊南温泉）
ライブホール1「ブルーライブ」 天下一品45（直営：10、FC：35） その他施設19（結婚紹介3、サ高住1、レストラン3、ケーキショップ1、子供写真館4、キッズランド3、日帰り温浴施設1、スイミング2、クライミング1）

【今後計画中】結婚式場2（福岡、岡山）、葬祭会館2（福岡、岡山）、ホテル3（由布院、京都2）、クライミング1（東広島）

自分のこと

上野 寛史【1972年6月24日生まれ45歳 かに座 A型 趣味：ゴルフ（28年）】

広島観音高校→山口大学→ユウベル株（平成7年入社 勤続23年）

現勤務先：本社 企画部マーケティング課



川村 聰君

私は「アールジェイ株式会社」という、皆様には少々聞き慣れない小さな会社を経営しております。弊社は昭和35年、今から58年ほど前に父が創業しました。創業当初は、洗剤や家庭用ワックスの販売をする中国リスロンという販売会社でした。私の父は京都の千本丸太町という二条城の近くの出身ですが、縁あってこの広島で仕事をすることになり、そのままここで商売を始めました。古い缶ですが、当時はこのような固形の汚れ落としを売り歩いていたそうです。

昭和59年、1984年ですので今から34年前、社名をアールジェイと変更し、オリジナルブランドの商品を販売する、メーカーへと業態を変えました。社名変更後はメーカーとして、主に住宅建築業界を中心に、ワックスや洗浄剤、木材保護材、塗料などの製品を全国に出荷しております。

現在、弊社で主力商品としているのが、こちらの「自然塗料いろは」という商品でございます。

「自然塗料」とは何かと申しますと、塗料の主成分である溶剤を、石油ではなく植物油を使用している非常に安全性の高い塗料でございます。最近は、住宅の建材を選ぶ時にもベニヤや塩ビシートなどの新建材ではなく、本物の木の家、本物の自然素材を使用した住宅、というものを求める人が徐々に増えています。木材が本来持つ調湿機能ですとか手触りの優しさや温もりを大切にしたいというお客様が増えております。我が国の国産木材をもっと使おうという機運も高まっており、それなら日本の気候風土に合った日本製の自然塗料を作りたいという想いで、11年前にこの「自然塗料いろは」を開発しました。

この「自然塗料いろは」は安全性もさることながら、大きな特徴として他の塗料よりも優れた着色力にあります。塗料の色の美しさや耐久性は簡単に言いますと顔料で決まるのですが、この「自然塗料いろは」の顔料には日本の木造建築で古くから使用されてきました「ベンガラ」という顔料を使用しています。

今日は、この「ベンガラ」という着色顔料について少しお話をさせていただこうと思います。「ベンガラ」というのは漢字で「弁柄（辨柄）」あるいは「紅殻」と書かれことがあります。漢字に「紅」が使われていることからわかると思いますが、「赤」の色を出すための酸化鉄顔料でございます。ベンガラという呼び名は、元々インドのベンガル地方より伝來したことからそう呼ばれるようになりました。江戸時代になると日本でもこのベンガラの製法が発明され、その後ベンガラ生産で栄えた町が、岡山県高梁市吹屋にあります。ここにはベンガラの取引で財産を築いた商家の町並みが残っています。この岡山吹屋のベンガラは、発色がよいことと熱や光による退色が少ないことで江戸時代には有田焼や九谷焼などの高級な焼き物の絵付けにも使われ、非常に高価な顔料だったそうです。人体に無害な顔料なので、口紅や漆のお椀などにも使用されてきました。ベンガラは、江戸時代から昭和初期にかけて、広く日本各地で木造建築の建具や軒先、壁などに塗られていました。木材を着色するという目的だけでなく、粒子の細かいベンガラが木材表面を覆うことで紫外線

による木材の劣化を防ぐという効果もあります。色落ちしにくく防腐・防虫効果もありますので、神社の鳥居や町屋の格子、また港町の古い民家など、木部が赤や赤茶っぽく色づけされているものはすべてベンガラを柿渋や油に混ぜて塗り込んだものなのです。そのようなベンガラですが、現代では技術が進化し、酸化鉄材料として磁性体を使うモーターなどの電子部分に使用されたり、デジタル記録メディア、最近では交通系プリペイドカードなどに使用されていますＩＣタグなどに、この酸化鉄の技術が応用されています。

園尾さんの会社であります「戸田工業」さんは、まさに古くからベンガラを製造され、現在は最先端のエレクトロニクス材料を世界に提供されております。

● 卓話予告

日 時	テ　ー　マ
2/15(木)	「NNK(ねんねんころり)と PPK(ぴんぴんころり) どちらであの世に行きますか」 呉共済病院長 村上 恒二氏

● 誰にも聞けないロータリーの基礎知識

スマイルボックス（ニコニコ箱）

広島西ロータリークラブでは、毎例会時にS A A委員会によるスマイルボックスの時間があります。主旨は、会員がニコニコして慶祝事項を自主申告し発表報告するもので、例えば企業の発展的ニュースとか、我が家のお祝い事とかをメモ書きしてS A Aに提出すれば紹介してくれるものです。その他に、S A Aが独自に調査して発表するものもあります。

出宝は原則一口1,000円です。積極的なご出宝をお願いしております。これがクラブの奉仕活動の資金となります。なかでも大きなお祝い事の時は、大枚（10,000円）、金一封（5,000円）をいただいていることもあります。

この習慣は全世界的なものではありません。日本では慣例となっていますが、どの国でもあるというものではありません。日本で「ニコニコ箱」の名称が始まったのは1936年です。関東大震災の被災孤児たちを遊園地に連れて行くための資金集めのため、段ボール箱を持って例会場を回ったのが起源だという説がありますが、起源はわかっていません。

例会日・木曜日 12:30～13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 村上 智亮
幹事 前橋 寛

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail : hwrc@godorc.gr.jp
作成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC 検索 